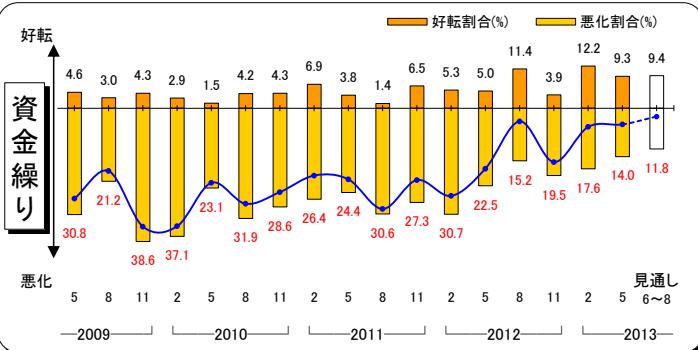
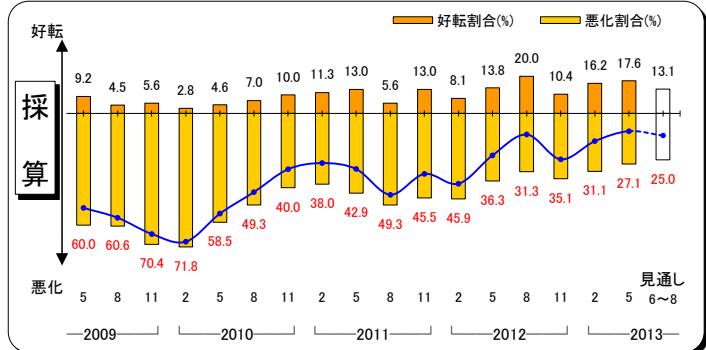
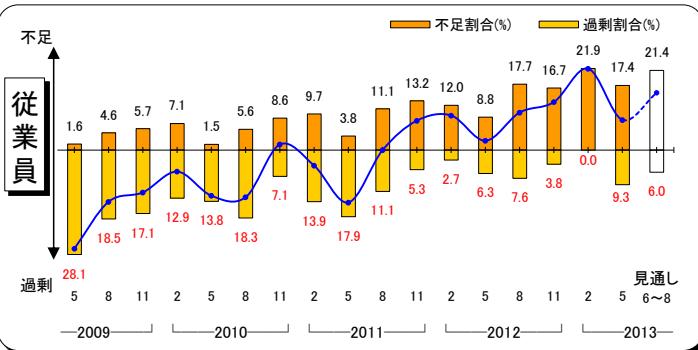
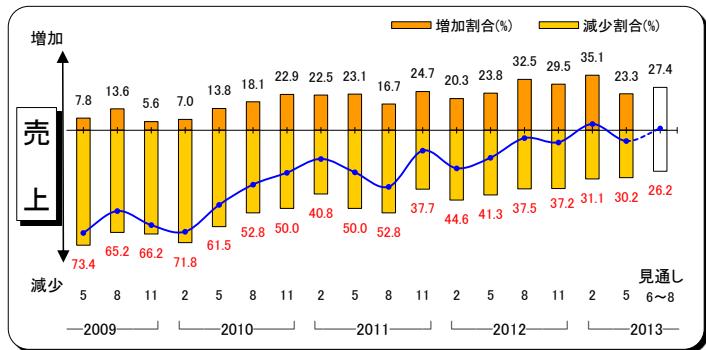
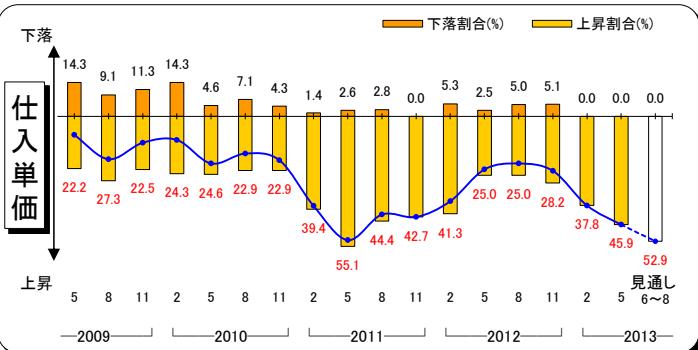
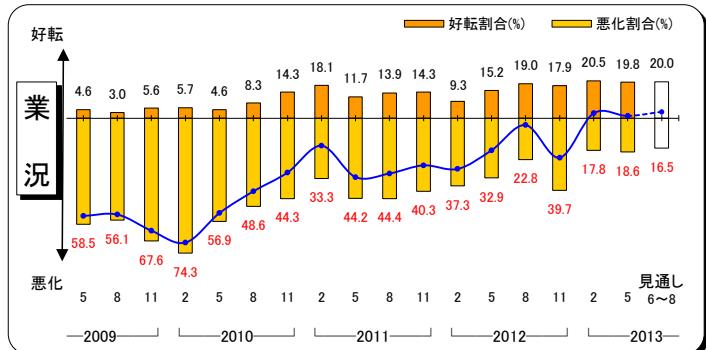


# 【建設業】①



## 【建設業】②

### 企業の声（順不同）

土木建築工事業	入札制度の変更により、受注が困難な状況。
土木建築工事業	円安の負組である鉄鋼メーカーの下請の為、仕事量が減少している上に、見積金額を叩かれます。この状況が好転することを強く望みます。
土木建築工事業	アベノミクス効果で現状は好転しているが、その継続性と波及効果はいまだ読めない所があり、弊社のような長期的な投資を行う業者にまで波及効果が来るにはもうしばらく時間が必要である。各企業が社員の給料を上げたまま維持できれば、そういう向きも出てくる可能性があるが、消費増税から原材料の上昇は必須、円安で長期金利が上昇する事になれば、過度な期待は持てないが、中小企業も新しい事にチャレンジしていきたい。
建築工事業	株価が上っていても機関投資家や個人の富裕層が多く潤うだけで、一般サラリーマンは給料やボーナスが上がり今後の見通しが良くならないと、住宅購入には積極的になれない人が多いので、少し時間が経たないと市場が大きく動かないと思う。
建築リフォーム工事業	円安、株高、金利上昇は一時的なものなのか、われわれ小企業には未だピンとこないであります。いずれにしても不況状態は変わりません。好転なしです。
内装工事業	一部のメーカーより、秋からの塩ビ製品の価格上昇に関する相談あり。ただし、現時点で公の話は一社のみ。
電気工事業	景気は少しがら上昇して来たようです。幕張メッセのイベントに関する電気工事は、コンサートやアニメ等の案件が増えてまいりました。少し前でしたらアニメ・キャラクター等は“おたく”的でしたが、時代の変化で今ではヨーロッパなどでも人気商品になっております。
電気工事業	無駄なお金を使わないようになった為、資金繰りは好転している。
電気工事業	24年度はただ忙しく、大変な一年でした。業績も良かったのですが、5月より仕事が減少しています。
電気工事業	金融業的商売は良いだろうが、我々のような工事業者には悪いことが先行している。
電気配線工事業	自己資金で運営しているが、回転が悪い。
管工事業	消費税の増税に伴い、9月30日までの契約が増加する見込みだが、その後の受注の落ち込みが心配。
管工事業	企業の生産活動が国外へ移行し、設備投資は減少しています。新規設備投資を期待していましたが、未だ伸び悩んでいます。
冷暖房設備工事業	公共工事の発注が全体的に増えてきていると思う。その好影響が広く波及して行くと思う。